



トーゴ共和国大使館
AMBASSADE DU TOGO AU JAPON



ようこそ トーゴの紹介 トーゴへの投資 フォトギャラリー ビザ

エコツーリズムと国立公園

エコツーリズムと国立公園



トーゴは、北にブルキナファソが、東にベナン共和国が、西にガーナが、南に大西洋がある、西アフリカに位置する国で、ヨーロッパから6時間のフライトで着きます。面積は5,600km²とあまり大きくはない領土ですが、アフリカのありとあらゆる種類の景観を見ることが出来ます。

トーゴは自然や多様性を好む方のお気に召すことでしょう。ビーチの細かな砂の上には、湖や海に沿ってココナツの木が植えられており、南西部の高原や山脈の滝からは水しぶきが湧き出て涼やかにさせ、また北部から中央部にかけて広がるサバンナには樹齢千年のパオバブの木があり、それらの幾つか

は国立公園に移植されています。

サファリの写真やエコツーリズムの愛好家たちは、その活動に好都合な自然環境をここに見出すことでしょう。それに加えて、それぞれ固有の言語や慣習を持つ、約40部族からなる650万人の住民からのもてなしは高い評価を得ています。

エコツーリズムの自然環境

トーゴの多様な生物は、エコツーリズムに好適な多様な自然環境を作り出しています。気軽に日常生活に向かえ入れてくれる住民と触れ合いながら、さまざまな活動を心ゆくまで楽しむことができます。

トーゴ湖とモノ川

トーゴ湖は、首都ロメから東に車で約30分ほど行ったところにある素晴らしい湖です。ここでウィンドサーフィンやボートなどの水上スポーツを行ったり、水浴をしたり、細かくさらさらした砂浜でくつろいだりするのに適しています。またこの国の名前の由来になったトゴヴィルという歴史的な街がある対岸の方角にカヌーに乗って進んでいくと、伝統的な釣りが行われている光景を眺めることができます。探検好きの方なら、カヌーに乗ってマングローブやココヤシの林を通り抜けて、潟湖へとつながる水の流れに沿って下っていくと、トーゴ南部のベナンとの国境となっているモノ川まで行くことができます。

高原州

希少植物が茂っている高原州の西側は、エコツーリズムに最適の地帯です。ロメから北西に120kmの場所に位置するパリメから、この一帯全体の素晴らしい自然を観察するための探索に行くことができます。

旅程上では、パリメに着く前にトーゴの最高峰であるアグー山(986m)を歩いて通り抜けることになるでしょう。ここでは、食糧を育成する耕地が拡大されたにもかかわらず存続している美しいヤシ園が見られます。さらに、コーヒーの木、カカオの木、果樹もみられる山腹の趣ある村の間を横切る道を歩いていくと、この地域全体の景色を眺望することができる山の頂上に至ります。

山を下って、道路に戻ると、暫しの休息をする場があります。ここにはコーヒーやカカオの苗床があり、この地域のさまざまな生産品についての詳しい説明を受けることができます。滝は数多く、大小様々なものがありますが、いずれの滝も爽やかな雰囲気、この緑の楽園は必ずお気に召すことでしょう。観光ガイドや、アソシエーション・ド・ラ・デクペール・ドゥ・トーゴ・プロフォン(ADETOP)という、この地域に多くある中でも最も有名なエコツーリズムの協会などの案内に従って、歩みを進めていくと、この地域特有の多種多様な生物や、高い栄養価や治療力を持つ植物、さらにクロト山ではさまざまな色の鳥や蝶の生息地などを発見することができます。そして、この山には、この地域の素晴らしい自然環境を保護するための活動が行われています。

旅行会社・観光案内所

・アルパ・トラベル・サービス
Tel: (228)222-13-43
FAX: (228)222-79-20
E-mail: atsvo@bilway.com

・トランスアフリカ
Tel: (228)221-68-23
FAX: (228)221-88-52
E-mail: transafrica@transafrica.biz
※トランスアフリカでは、少人数のグループで観光地でキャンプすることが可能です。

・トーゴヴォヤージュ(ロメ)
Tel: (228)221-77-12
FAX: (228)221-88

・サファリトラベルズ&ツール(ロメ)
Tel: (228)221-77-12
FAX: (228)220-80-77
E-mail: safari_trav@yahoo.fr

・アソシエーション・ド・ラ・デクペール・ドゥ・トーゴ・プロフォン(ADETOP)(パリメ)
Tel: (228)441-08-17
E-mail: adetop@hotmail.com
※マングローブの保護活動を行っている協会

・アリアンス・ナショナル・デ・コンソマチュール・ド・ロンビロヌモン(ANCE)
Tel: (228)336-22-89
FAX: (228)222-29-91
E-mail: ance-togo.@cooperation.net
www.ancetogo.glogalink.org

国立公園
・ファザオ・マルファカッサ国立公園(ソコデ)
Tel: (228)550-02-96

・サラカワ公園
Tel: (228)661-04-56 / 668-70-00
Email: parcsarakawa@hotmail.fr

宿泊施設
観光地の近くの大きな街には、いずれもホテルがあります。また観光地には他の快適な宿泊施設もあります。

・コンブモン・ド・クロト c/o オテル・トント・ウー(パリメ)
Tel: (228)441-00-95 / 441-00-97

101 (228)440-09-70 / 440-09-70

・オーページュ・ラ・カスカード・ダクロ
ア

・ホテル・ル・モノ(ナンベト)
Tel: (228)440-09-70

死を恐るることなどありません。もしよければ、コミュニティの再植林や、環境維持活動、またキャンプファイヤーを囲んでの民族のパーティーなどにも一緒に参加してみてください。

冒険に夢になった方は、熱帯雨林を深く進んでいくことができます。そして辿り着いたところには、素晴らしい気候に恵まれたダイエの台地があります。そこからバドゥの街から程遠くない場所にあるアコロアの滝という国内最大の滝の一つを訪れることができ、その水には治癒力があるとされています。この驚くべき自然を見るために山や谷を越えて体力を消耗した後には、ここで水浴びをすることで癒されて、旅の苦勞が必ず報えられるでしょう。

バドゥから、東側の台地に向かう道路を行くと、丘の上に築かれた、趣きあるアタパメの街に着きます。そこからは、周辺の谷の美しい全景を見渡すことができます。

アタパメから南東に下っていくと、モノ川の中流に、ナンベトの水力発電用ダムがあります。地元の人に案内されながら辛抱強く歩き続けると、運がよければ、人工の湖や川岸で昼寝をしているカバを見ることができます。

トレッキングのできるカビエ山

さらに北へと足を延ばして、アレジョ山を越えていくと、ロメから412km離れたところに位置するカラの街に着きます。カラの街の東側にはカビエ山がそびえており、その斜面は侵食されています。雨季の初めである7月には、この山の斜面で段々畑で耕作をする様子が見られますが、これはこの環境特有の文化的な技術です。7月の第2土曜日からは、伝統的な格闘技であるエヴァアが始まります。また、人が密集して住んでいるこの山でトレッキングをして、さらに大きな石で鉄を鍛えている鍛冶屋や、素晴らしい陶工などの、大切に守られてきた職人の伝統を見に行き、楽しむことができます。またこの地域での滞在中に、カビエ山と同時に、サラカワ公園を訪れるといいでしょう。

クタマク

カラの地域から少し北に位置するところには、ユネスコ世界遺産に登録されているクタマクの文化的景観を見ることができます。この500km²の広大な土地には、粘土でできた砦となっている伝統的住居「タタ」が建築されており、地元住民によって大切に保持されています。地元の人に案内されて歩いていくと、タタを見たり、この自然・文化環境に適した建築技術を持った住民達に会うことができます。タタは、神、人、動物が宿る場所です。聖なる森や、独自の墓地など、この特別な価値のある文化的景観の神秘を発見することは、とても楽しいでしょう。

ファザオ・マルファカッサ国立公園

国の中央部にあるファザオ・マルファカッサ山脈を背にして、豊かな植物でモザイク状に覆われた公園があります。この公園には、美しい森林園や、甘美な香りで有名な多種多様な植物が広がった肥沃な平野があり、その下にはスイギュウ、象、レイヨウ、ハーテビースト、コップ種の馬、イボイノシシなどの群れが歩いているのが見られます。

この192,000haの敷地にあるファザオ・マルファカッサ国立公園は、鳥、霊長類、爬虫類、その他の面白い動物達の保護地区でもあります。公園は12月から4月まで開園しています。この公園を管理運営しているスイスのフランチ・ウェーバー財団は道路や監視所を修復し、動物を保護するために、監視を強化しています。この修復には25部屋あるホテルの建設を含めることになっています。そのホテルは、住民が暖かくもてなしてくれるファザオの村の近くにあり、この公園の中心部に位置しています。

ケラン国立公園

この公園は、カラから92km北に、南のケラン県と、北のオティ県にまたがっており、自然を愛する人にとって理想的な場所です。ケラン国立公園は、163,000haの敷地に広がっています。木が生い茂り、美しい森林園があり、丘がそびえる平野には、クマツヅラ科、ジャケツイバラ科、クワ科などの、あらゆる植物が植生しています。

動物は、スイギュウ、レイヨウ、ハーテビースト、コップ種の馬、イボイノシシ、霊長類、ワニ、ニシキヘビなど、40種類以上からなっており、鳥類の種類も豊富です。

持続的開発のための具体的管理運営の問題のために、今後の再開園を目指して地元住民と共に公園のサイズ変更が始められています。そのような見通しのもと、公園の中心に位置するナブルグ・モーターの修復も予定されています。

サラカワ公園

サラカワ公園は1,500haの敷地にあり、カラから約20km北西の、トーゴ北部に位置しています。確かに小さな公園ですが、多様な植物や、特に現地の動物達(スイギュウ、コップ種の馬、ハーテビースト、ヒヒ)、また他の地域から来て、この環境に順応した動物達(シマウマ、ヌー、ケープタウンのオリックス)などが見られます。

木が茂り、山や丘に囲まれたサヴァンナの植物の中で、クロウタドリ、スズメ、コガモ、キジハト、野生のホロホロチョウの群れ、ダチョウ、エミューなどの、豊かな鳥類を公園は保護しています。

今後の開発計画としては、サラカワ公園は、隣接するジャムデに統合されて、多様な動植

物の保護地域になることになっています。
現在までに、サラカワ公園は、国立公園の中で最も訪問者数が多いのですが、それは訪問者は動物達を見つけるまでに長い距離を歩き回らなくても、いつでも動物達に会うことができるからです。

http://www.togo-tourisme.com/togo-tourisme-tourisme-vert.php?id_page=20